



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション  
 コード番号 9355 URL <http://www.rinko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 坪井 鈴兒  
 (氏名) 山下 和男

TEL 025-245-4112

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,730	0.9	335	12.0	547	84.6	272	139.4
25年3月期第2四半期	9,644	△5.4	299	△35.5	296	△40.3	113	△63.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 401百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △71百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	10.10	—
25年3月期第2四半期	4.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	38,882	12,775	32.9	473.56
25年3月期	38,984	12,455	31.9	461.68

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 12,775百万円 25年3月期 12,455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	3.00	3.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,310	△4.0	540	△13.5	450	△28.0	200	△42.7	7.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	27,000,000 株	25年3月期	27,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	22,347 株	25年3月期	22,347 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	26,977,653 株	25年3月期2Q	26,977,869 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

平成25年4月1日から9月30日までの6か月間(以下、当第2四半期)におけるわが国経済は、欧米経済に持ち直しの動きが見られる中、中国をはじめとした新興国経済の鈍化により依然として不透明な状況が続くものの、新政権による経済・金融政策による円高是正や株価の上昇を背景として全体の景況感は改善されつつあるものと認識しております。

このような事業環境にあつて当社企業グループは、主力となる運輸部門における業績が堅調に推移し、機械販売部門は大型の機械販売案件や機械整備の増加により好調に推移いたしました。一方、ホテル事業部門においては宴会件数や宿泊客数の減少から、商品販売部門においては取扱商品の出荷量減少から低調に推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期の売上高は9億7千万円(前年同四半期比0.9%の増収)、営業利益は3億3千万円(前年同四半期比12.0%の増益)、経常利益は貸倒引当金戻入額などの影響により5億4千7百万円(前年同四半期比84.6%の増益)となり、四半期純利益は2億7千2百万円(前年同四半期比139.4%の増益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## [運輸部門]

既存荷主の困り込みと新規貨物獲得を軸とした営業戦略を展開して参りましたが、一般貨物においては大宗貨物でありますチップ、石油コークス、石膏等の減少により前年同四半期比で微減となりました。一方、コンテナ貨物は昨年11月からの韓国航路における新規サービスが寄与し前年同四半期より増加し、全体の港湾運送事業における船内取扱数量は301万3千トン(前年同四半期比2.4%の増加)となりました。

当社と運輸系子会社3社(新光港運株式会社、リンコー運輸株式会社、丸肥運送倉庫株式会社)を合わせた同部門の収入は5億4千3百万円(前年同四半期比4.5%の増収)、セグメント利益は1億5千3百万円(前年同四半期比72.1%の増益)となりました。

## [不動産部門]

地代・家賃収入を中心とする同部門の収入は1億8千2百万円(前年同四半期比0.1%の増収)、セグメント利益は1億9百万円(前年同四半期比2.6%の増益)となりました。

## [機械販売部門]

前年度からの公共事業の継続に伴う大型機械整備の増加や、消費増税前の駆け込み需要を含めた大型の建設・産業機械の販売件数増加により、同部門の収入は9億7百万円(前年同四半期比22.7%の増収)、セグメント損失は1百万円(前年同四半期は2千7百万円のセグメント損失)となりました。

## [ホテル事業部門]

株式会社ホテル新潟では、セールスの増強やコスト管理の徹底に努めて参りましたが、宴会件数の減少により前年同四半期比で減収減益となりました。株式会社ホテル大佐渡においても、旧館の営業停止に伴う宿泊客数の減少から前年同四半期比で減収減益となりました。

これらの結果、同部門の収入は1億4千7百万円(前年同四半期比11.3%の減収)、セグメント利益は3千3百万円(前年同四半期比59.7%の減益)となりました。

## [商品販売部門]

貿易収入は、住宅着工戸数の回復による住宅資材の取扱増加が寄与し好調に推移いたしました。商品販売収入は、工事口へのセメント出荷が遅延したことから取扱数量が減少し、同部門の収入は1億5千2百万円(前年同四半期比8.7%の減収)セグメント利益は2千2百万円(前年同四半期比26.5%の減益)となりました。

## [その他]

保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務を合わせたその他の収入は1億6千8百万円(前年同四半期比11.9%の増収)、セグメント利益は1千8百万円(前年同四半期比4.8%の増益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末と比べて、1億1百万円減少し、388億8千2百万円となりました。これは主に、受取手形及び営業未収入金の減少によるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末と比べて、4億2千1百万円減少し、261億7百万円となりました。これは主に、支払手形及び営業未払金の減少、有利子負債の返済によるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末と比べて、3億2千万円増加し、127億7千5百万円となりました。これは主に、四半期純利益、配当金の支払い、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結通期業績予想につきましては、平成25年11月1日に公表いたしました「営業外収益の計上及び平成26年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ」にあります営業外収益(貸倒引当金戻入額)の計上による影響のほか、同日公表いたしました「固定資産の撤去に伴う特別損失の計上に関するお知らせ」にありますように、平成26年3月期第4四半期の連結決算において特別損失(固定資産処分損)の計上が予定されること、さらに下期の業績も消費税増税前の不確定要因を考慮する必要があり、現在精査中であります。

今後、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかにお知らせいたします。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	788,002	701,264
受取手形及び営業未収入金	4,285,677	3,918,192
たな卸資産	275,439	197,471
繰延税金資産	128,149	146,259
その他	173,574	507,425
貸倒引当金	△6,764	△7,361
流動資産合計	5,644,079	5,463,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,250,366	22,858,005
減価償却累計額	△15,019,155	△15,217,827
建物及び構築物(純額)	7,231,210	7,640,177
機械装置及び運搬具	2,333,110	2,420,985
減価償却累計額	△2,000,787	△2,022,341
機械装置及び運搬具(純額)	332,322	398,644
土地	21,973,338	22,027,769
リース資産	734,609	440,846
減価償却累計額	△306,907	△223,080
リース資産(純額)	427,702	217,766
建設仮勘定	61,972	26,043
その他	1,158,568	1,159,610
減価償却累計額	△988,617	△976,159
その他(純額)	169,951	183,450
有形固定資産合計	30,196,498	30,493,851
無形固定資産		
リース資産	16,018	10,889
その他	6,683	5,952
無形固定資産合計	22,702	16,842
投資その他の資産		
投資有価証券	2,261,364	2,445,405
繰延税金資産	55,814	60,929
その他	1,372,729	726,917
貸倒引当金	△570,063	△324,632
投資その他の資産合計	3,119,844	2,908,620
固定資産合計	33,339,045	33,419,313
繰延資産		
社債発行費	1,048	419
繰延資産合計	1,048	419
資産合計	38,984,173	38,882,984

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,577,628	2,347,716
短期借入金	6,750,000	5,900,000
1年内返済予定の長期借入金	2,418,890	2,653,986
1年内償還予定の社債	100,000	50,000
リース債務	111,896	82,384
未払法人税等	134,498	218,679
賞与引当金	82,842	84,294
資産除去債務	15,600	15,600
その他	930,699	917,696
流動負債合計	13,122,055	12,270,358
固定負債		
長期借入金	4,897,995	5,303,150
リース債務	345,742	155,683
繰延税金負債	1,390,773	1,524,772
再評価に係る繰延税金負債	5,806,436	5,806,436
退職給付引当金	605,807	692,627
役員退職慰労引当金	102,873	100,365
環境対策引当金	20,810	20,810
資産除去債務	91,197	92,182
その他	145,374	141,191
固定負債合計	13,407,010	13,837,220
負債合計	26,529,065	26,107,578
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,459	809,459
利益剰余金	904,631	1,096,096
自己株式	△6,757	△6,757
株主資本合計	3,657,333	3,848,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	248,246	377,080
土地再評価差額金	8,549,526	8,549,526
その他の包括利益累計額合計	8,797,773	8,926,607
純資産合計	12,455,107	12,775,406
負債純資産合計	38,984,173	38,882,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>売上高</b>		
運輸作業収入	4,614,881	4,864,335
港湾営業収入	106,354	97,987
不動産売上高	169,856	170,122
機械営業収入	682,267	861,144
ホテル営業収入	1,603,756	1,423,950
商品売上高	1,781,296	1,627,251
その他の事業収入	685,633	685,826
売上高合計	9,644,045	9,730,618
<b>売上原価</b>		
運輸作業費	4,227,755	4,453,217
港湾営業費	93,467	84,802
不動産売上原価	64,722	62,764
機械営業費	647,362	802,946
ホテル営業費	1,333,953	1,215,287
商品売上原価	1,727,588	1,589,090
その他の事業費用	451,538	465,769
売上原価合計	8,546,388	8,673,879
売上総利益	1,097,656	1,056,739
販売費及び一般管理費	797,719	720,860
営業利益	299,937	335,878
<b>営業外収益</b>		
受取利息	3,748	3,091
受取配当金	21,069	29,859
貸倒引当金戻入額	22,843	247,867
雑収入	43,690	14,079
営業外収益合計	91,351	294,897
<b>営業外費用</b>		
支払利息	87,917	80,750
雑支出	6,697	2,268
営業外費用合計	94,615	83,019
経常利益	296,673	547,756
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	2,919	3,015
退職給付引当金戻入額	—	5,462
特別利益合計	2,919	8,478
<b>特別損失</b>		
固定資産処分損	26,962	15,269
投資有価証券評価損	162,197	3,999
特別損失合計	189,160	19,269
税金等調整前四半期純利益	110,432	536,964
法人税、住民税及び事業税	59,204	212,011
法人税等調整額	△62,544	52,554
法人税等合計	△3,340	264,566
少数株主損益調整前四半期純利益	113,772	272,398
四半期純利益	113,772	272,398



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	113,772	272,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△184,185	128,833
土地再評価差額金	△1,417	—
その他の包括利益合計	△185,602	128,833
四半期包括利益	△71,830	401,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△71,830	401,231

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売 部門	ホテル事業 部門	商品販売 部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,223,591	169,856	714,698	1,603,756	1,781,296	9,493,199	150,846	9,644,045
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,505	12,332	24,577	5,110	28,510	75,034	52	75,087
計	5,228,096	182,188	739,275	1,608,866	1,809,806	9,568,233	150,899	9,719,133
セグメント利益又は 損失(△)	88,898	106,815	△27,319	82,699	30,050	281,144	17,771	298,916

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	281,144
「その他」の区分の利益	17,771
セグメント間取引消去	504
その他の調整額	516
四半期連結損益計算書の営業利益	299,937

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売 部門	ホテル事業 部門	商品販売 部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,459,232	170,122	881,480	1,423,950	1,627,251	9,562,038	168,579	9,730,618
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,160	12,332	25,527	3,915	25,461	71,397	204	71,601
計	5,463,393	182,455	907,008	1,427,866	1,652,713	9,633,436	168,783	9,802,220
セグメント利益又は 損失(△)	153,023	109,608	△1,041	33,315	22,074	316,979	18,621	335,601

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	316,979
「その他」の区分の利益	18,621
セグメント間取引消去	481
その他の調整額	△203
四半期連結損益計算書の営業利益	335,878

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。